

メンテナンス手順

フィーダは、常に万全な状態で利用できるようにすることで、耐用年数を延ばすことができます。

今後長年、ヤーンフィーダの動作状態にご満足いただくために、弊社が推奨するノウハウをご紹介します。

1. ヤーンアキュムレータは、温度の低い保管場所から、暖かい製織工場に移動させると、結露をおこすことがあります。電気部品の損傷の原因になるので、完全に乾燥するまで、電源を接続しないでください。
2. 水や湿気は、ヤーンフィーダの電気部品に支障をきたします。8割を超える、湿度が非常に高い環境で、長期間ヤーンフィーダを操作したり、水分を含む糸の使用は、電気カードを、急速に傷める原因になります。また、フィーダを水などで洗浄しないでください。
3. ほこりの多い環境下での機械の使用は、通常よりも頻繁に、メンテナンスを実施する必要があります。可動部品のストレスを軽減して、良好な動作状態を保つためには、製織環境に残留する砂ほこりや、ほこりなどがないようにしてください。可動部品は保護されていますが、ほこりの蓄積が、可動に支障をきたし、早期損傷を招く原因になることがあります。
4. 長期間、フィーダを利用しない場合は、専用のポリスチレンボックスでの保管をお勧めします。
5. ヤーンフィーダの装備時には、必ず専用のヘッドル（綜統）を利用してください。それ以外工具は使用しないでください。とくに、金属でできた工具は、吸気口のセンサーを損傷させる原因となります。